

暑熱対策及び電力需給対策に取り組みましょう

畜産分野において電力を使用する関連設備が比較的多いことから、夏期における暑熱対策及び電力需給対策に関する参考事例を下記のとおり取りまとめたので、取り組んでみて下さい。

夏期暑熱対策

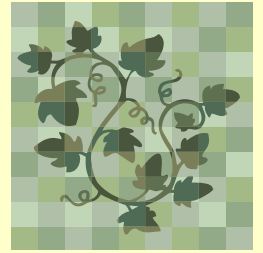
家畜の暑熱対策の準備を予め進めておきましょう。

(1) 畜舎温度の低下による畜舎環境の改善

畜体への直接送風・散霧及び畜舎内の送風・散水、遮光ネット及びつる性植物による日除け、屋根等への断熱材の設置、石灰塗布等によって畜舎の温度を低下させて、畜産環境の改善を図りましょう。

(2) 飼養管理の徹底による家畜の負担軽減

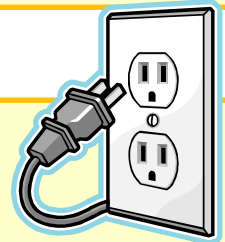
飼育密度を緩和し、良質で消化率の高い飼料や冷水を十分給与しましょう。



電力需給対策

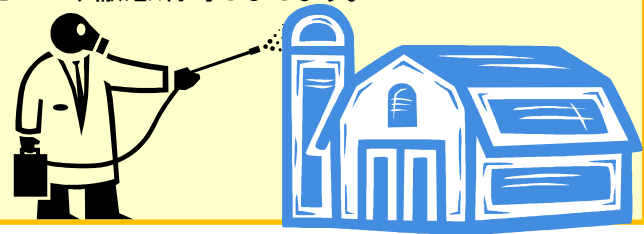
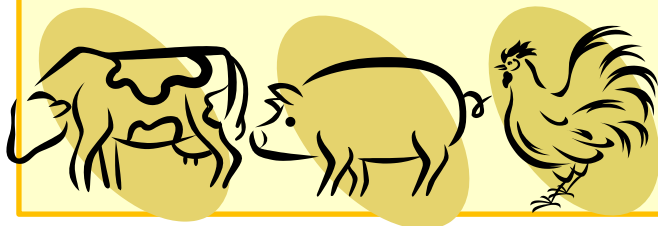
(1) 使用電力総量低減のための取組

- ・使用していない電気機器プラグはコンセントから抜きましょう。
- ・空調機器にフィルターが設置されている場合は2週間に1回程度清掃しましょう。
- ・上記の夏期暑熱対策のうち、日除け及び断熱材の設置、石灰塗布等の電気を使用しない対策と、空調等の連続的に使用される電気機器の設定温度の引き上げ、間欠運転等を併せて行いましょう。
- ・畜舎内の照明を消費電力の少ないLED照明や高効率蛍光灯に変更しましょう。



(2) ピークカット実現のための取組

- ・給餌、搾乳、堆肥の切返しその他の電力を消費する不連続的な作業については、可能な限り、電力消費量の少ない夜間又は土日に実施しましょう。
- ・作業形態上可能であれば時間をかけることにより、低い使用電力量で行いましょう。
- ・自家発電機を導入しましょう。
- ・使用電力の増加につながる設備の導入を行う予定がある場合は、設備導入の緊急性及び必要性を再点検して導入時期を電力需給がひっ迫しない秋に延期しましょう。
- ・衛生面で課題を抱えている畜舎を保有する畜産農家はオールアウトを今夏を契機として検討し、使用していない畜舎の電源を切るなどした上で、徹底消毒しましょう。



問い合わせ先：岩手県中央家畜保健衛生所

TEL:019-688-4111 FAX:019-688-4012